

No.2867

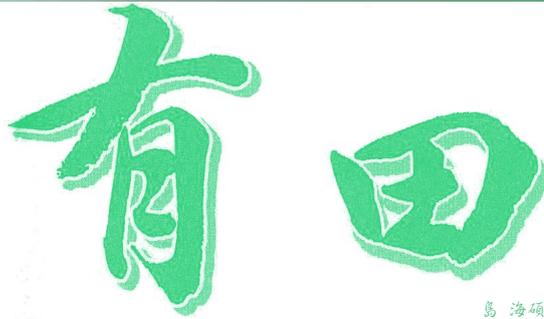
2017-2018年度

会長 成川 守彦

幹事 橋本 拓也

R広報委員長 應地 正章

担当：松村委員



島海碩書

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
 例会場 紀州有田商工会議所6F
 〒649-0304
 有田市箕島33-1
 紀州有田商工会議所2F
 有田ロータリークラブ
 Tel (0737) 82-3128
 Fax (0737) 82-1020

創立 昭和34年6月15日
 ホームページ <http://www.aridarc.jp>
 e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

- 1. 真実かどうか
- 2. みんなに公平か
- 3. 好意と友情を深めるか
- 4. みんなのためになるかどうか



本日のプログラム

平成30年4月26日 第2868回

- ・ 会員卓話：菅原 佳典 君 「近ごろの楽しみ」
- ・ ソング：「イツ ア スモール ワールド」

前回の報告（第2867回例会）

開催日 平成30年4月19日(木)

点 鐘 (成川(守)会長)

ゲストの紹介

(橋爪(誠)親睦活動副委員長)

ゲスト:森 賢三 様(むすび農園 園主)

米山功労者表彰



ロータリー米山記念奨学会より、成川(守)君に感謝状とピン、また米山記念奨学会会長より御礼のお手紙が届きましたので松村米山記念奨学会委員長より授与されました。

◎成川守彦君：第30回メジャードナー表彰

ニコニコ箱の報告 (中元SAA)

成川(守)君：森様、ようこそ有田RCへ。親睦家族旅行へのご参加、ありがとうございました。

橋本君：森様、ようこそ有田ロータリークラブへ。本日の卓話よろしくお願い致します。

宮井君：森賢三様、卓話よろしくお願い致します。成川会長、先週ロータリーカレッジ、ありがとうございました。勉強になりました。

2017-2018年度クラブ方針

ロータリーを知ろう

～温故知新～

次回のお知らせ

平成30年5月10日 第2869回

- ・ 外部卓話：中島 章雄 氏 ((株)和歌山放送社長) 「元新聞記者のウラバナシ～現ラジオ局長として～」
- ・ ソング：「君が代」「奉仕の理想」



脇村君：森さん、本日の卓話ありがとうございます。よろしくお願ひします。

橋爪(誠)君：森賢三様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしくお願ひいたします。

川口君：森賢三様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話、宜しくお願ひ致します。勉強させて頂きます。

菅原君：森様、卓話宜しくお願ひ致します。

嶋田(崇)君：森さん、本日卓話有難うございます。

児島君：森賢三さん、お話楽しみです。京都では会長、親睦副委員長さんにお世話になりました。

井上君：本日の卓話楽しみです。

嶋田(ひ)君：森様、本日の卓話宜しくお願ひします。ロータリーカレッジ、おつかれさまでした。

岩本君：森様、本日は卓話有難うございます。楽しみにしています。

上野山(栄)君：森賢三様、ようこそ有田RCへお越し下さいました。本日、有田中央大橋の東側、たくさんのこのぼりが泳いでいてすがすがしい思いで運転して来ることが出来ました。

石垣(泰)君：森賢三様、農からの変革の卓話、楽しみにしております。

松村君：森様、卓話楽しみにしています。

中元君：森賢三様、ようこそ有田RCへ。

出席報告 (橋爪(正)例会運営委員)

本日の会員数30名 (出席規定免除会員9名)

出席会員数22名 (出席規定免除会員6名)

78. 57%

3/29 80. 00%

MU：上野山(栄)君、川口君、嶋田(ひ)君

会長の時間 (成川(守)会長)

去る4月8日の親睦家族旅行には、大勢の皆様のご参加をいただきありがとうございました。お陰様で、お天気も良く、桜も満開で、妙心寺退蔵院の特別拝観もでき、木乃婦での京料理も楽しむことが出来ました。ありがとうございました。



私が最初に原谷苑へ行ったのは、7年前の2011.04.17でした。10日遅いですが、満開でした。あそこは毎年遅いのです。4月の半ばから下旬です。ただ、昨年も行きましたが、今年ほど大勢の人出ではなかったです。やはりNHKの放送の影響でしょうか、例年の三倍位の人出でした。

さて、4月は、ロータリーの「母子の健康月間」です。世界では疾病、栄養失調、医療の不備、不適切な衛生設備が原因で毎年、5歳未満の子どもが590万人亡くなっています。また避妊を望む女性のうち2億2,200万人が安全で効果的な避妊法を利用できません。サハラ以南のアフリカでは、39人に1人の女性が妊娠中または出産による合併症で亡くなっています。

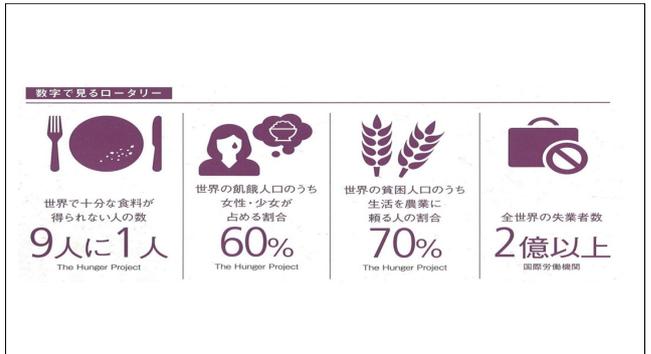
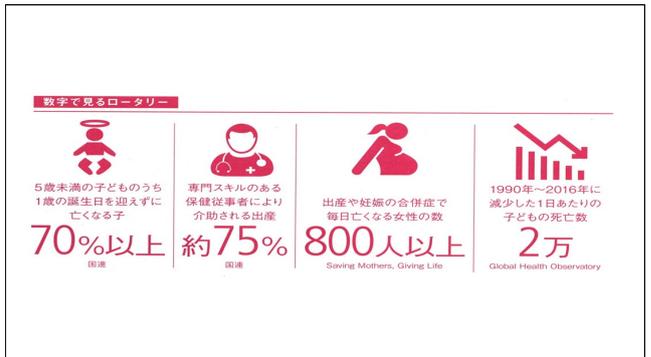
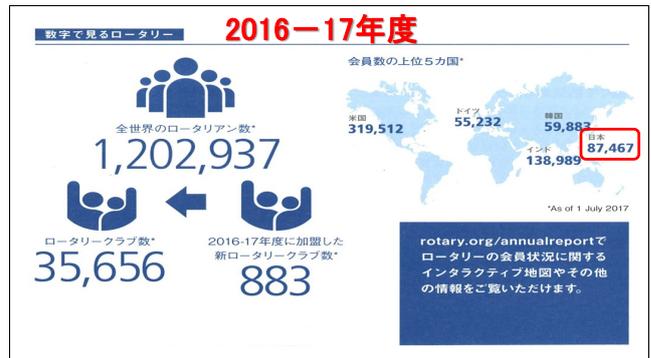
2014年10月RI理事会は、4月を重点分野である「母子と健康月間」と定め、このような子どもたちや母親の命を救うため母子に対する基本的な医療サービスの提供、保健ケアの提供、母子の健康に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金支援をしています。

具体的な活動としては、

- ① 予防ワクチンや抗生物質を提供するプログラムを支援する。ワクチンで予防可能な病気 (Vaccine-preventable Disease-VPD) は、ポリオ・はしか・マラリア・肺炎・エイズ・百日咳等20種類ほどにも増えており、5歳未満の子どもの主な死亡要因となっています。予防接種を世界中の人々が受けられる社会・姿・笑顔を想像してみてください。
- ② 母乳の奨励(適切な場合)など栄養摂取の大切さを呼びかける。
- ③ 汚染水による下痢性疾患によって栄養失調が悪化するため、水と衛生を改善して子どもの栄養促進を図る。
- ④ 避妊教育や避妊具の提供といったニーズを満たすだけで妊婦の死亡率を3分の1近く減らすことができる。
- ⑤ 医療従事者に出産に関する情報資料を提供する。
[参考] 避妊に関する地域社会の文化や伝統に十分配慮し、地域住民との信頼関係を築くことができれば、より効果的にニーズを満たせる。
- ⑥ 医療従事者を対象とした公認の研修プログラムを支援する。[参考]
 - ・医療研修プログラムを地元の人びとが引き継いでいけるよう、支援とリソースを提供する。
 - ・妊婦や新生児の医療に関する専門知識があるロータリー会員(助産師・婦人科医・産科医など)に相談する。
 - ・母子の健康に関する専門団体と協力する。

などが挙げられます。当地区でも地区補助金・グローバル補助金を活用してこの問題に取り組んでいるクラブもあります。

PPT: ①: 数字で見るロータリー



PPT②:ロータリーショーケース



ミャンマーにおける有機肥料を使った職業訓練事業



有田川クリーン作戦



有田市の活性化に米山奨学生が一役



幹事報告 (橋本幹事)

1. 4/5に開催した第10回定例理事会について 協議事項8件
 - ①会員の退会について(会長) 酒井会員(3月31日付)及び田端会員(4月5日付)の退会について【承認】
 - ②ロータリー財団委員長の後任について(会長) 退会する酒井委員長の後任には中元委員にお願いする【承認】
 - ③2020-2021年度ガバナー候補者推薦書について(会長) 推薦したい候補者がいるが、本人辞退のため今回は当クラブからの推薦はしない【承認】
 - ④植樹について(社会青少年奉仕委員会)
 - ・プレートに記載する内容と字体を再検討する
 - ・殆んどの木は植樹は前日に行っておき、当日はソメイヨシノの植樹だけに【承認】
 - ・外部声かけ(ローターアクト:橋本、箕島高校:橋爪誠治さん、市役所:脇村さん)【承認】
 - ・桜木の手入れ代は引き続き渡す【承認】
 - ・次回の例会で開催案内と参加者の募集を行う【承認】
 - ⑤4、5月の例会プログラム(例会運営委員会)【承認】
 - ⑥3月試算表【承認】
 - ⑦トロント国際大会 信任状と投票代議員について(幹事) 代議員:成川会長、補欠者:橋本、第2補欠者:菅原さん【承認】
 - ⑧大阪万国博覧会誘致に向けた応援署名活動について(幹事) 次回の例会で署名活動を行う【承認】
2. 本日、その誘致に向けた署名活動を本日おこなっています。皆様署名をお願いします。
3. ハイライトよねやま Vol.217が届いています。
4. 和歌山県より、「(ダム、ゼツタイ)普及運動に対する後援とご協力について」の依頼が届いています。社会青少年奉仕委員長に渡しました。
5. 田辺東RC及び岩出RCから週報が届いています。
6. 他クラブより例会変更のお知らせが届いています。

ロータリー友誌 (松村R広報委員)

ロータリーの友誌4月号

縦組み

- ・P3 RI会長メッセージ:環境問題に全てのロータリアンが継続的に取組んでゆきましょう。
- ・P7 夢を諦めない、約束を守ろう(ポリオワクチン投与活動の記事):かつて有田にお越しいただいた関場先生や永田氏の名前も出てきます。松本祐二氏のポリオ撲滅で私達にもこんなよいことがという記事もついています。
- ・P21 第2640地区の地区大会で連続出席56年に感謝:連続出席40年以上の会員。在籍45年以上(80歳以上)の会員。勤続20年以上のクラブ事務局員の表彰を行った。

横組み

- ・P54有田市の活性化に米山奨学生も一役:有田RCのロータリーデーの地ノ島での活動について。

委員会報告

*R広報委員会(松村委員)

ガバナー月信に有田川クリーン作戦の活動報告が井上委員長の写真とともに掲載されています。

*社会・青少年奉仕委員会(井上委員長)

桜木の手入れを5月13日(日)に開催します。

植樹のプレートの標語の発表:「平和で美しい地球を次世代に引き継げるよう祈念します」(松村君)

*次年度会長(上野山(栄)会長エレクト)

本日、例会終了後、次年度理事会を開催します。22日(日)地区研修・協議会を開催します。出席されます方、よろしくお願いします。

地区研修・協議会 平成30年4月22日



卓話

「農からの変革」



むすび農園 園主
森 賢三 氏

前職では、全国を飛び回り地域活性化などのお手伝いをしてきたので、退職して和歌山に戻るとき、仕事仲間などには「和歌山を元気にしてくるわ!」とってこの地に帰った。実際に戻ると、この地は魅力的な資源と人材で満ち溢れていた。

当初は農作業を手伝いながらも、コンサル活動は続ける予定であった。しかし、実際に農作業に取り組んでみると、その奥行は果てしなく、中途半端な気持ちでは何も学べないことに気づき、すべてを捨てて農作業と向き合った。そして従来の農業を続けつつも、自分がしたいこととして自然農によるみかん栽培を始めた。

農作業(自然)と向き合っていると、そこには様々な真理が潜んでおり、それを理解すると社会のあるべき姿までが見えるようになってきた。その詳細は「農から学ぶ哲学」(文芸社)に取りまとめたので、ご一読していただきたい。

地域を元気にするために最初に取り組んだのが、5年前の「みかん精の楽光」の立ち上げであった。初島に畑を借りて、農作業を実際に体験してもらいながら、上記で述べた農(自然)からの気づきを座学を通して皆と共有していった。そして、農体験とセットにした各種イベントも開催し、県外の人々も和歌山に足を運んでもらうようになった。また、農体験にとどまらず、自分たちが育てた農産物を使った各種加工や販売を行うとともに、参加者自身の意識や生活を変えていくといった活動へと広がりを見せている。さらには、こだわりを持った生産者のネットワーク(紀の川市～田辺市)を構築し、ノウハウの共有や共同での販路の拡大、学生たちとの交流による新たな世代を巻き込んだ未来の創出などに取り組んでいる。

閉会・点鐘 (成川(守)会長)